

聴覚障害学生支援に関する実践事例コンテスト 2019
視覚障害者用テキストデータ作成の手引き

【作成の目的】

資料のテキストデータとは、視覚効果を排してシンプルな文字列にしたもので、視覚障害者がスクリーンリーダーで読み込むことで、内容を把握することができます。本シンポジウムは、毎年視覚障害者にもご参加いただいております。当日資料のテキストデータは事務局にて作成しております。

このうち、コンテストのポスターは、発表者の意図をもってイラスト、写真等が多く用いられています。そのため、本来の意図を伝えることができるよう、発表者自身でテキストを作成いただき、提出をお願いいたします。ご提供いただいたテキストデータは、希望する参加者に事前に送付するほか、シンポジウム終了後、PEPNet-Japan ウェブサイトの当日資料ダウンロードページに掲載いたします。

お手数をおかけいたしますが、アクセシビリティ向上のため、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【テキストの作り方（Windows の場合）】

① 元になるテキストを作成する

PDF ファイルの場合、「ファイル」→「書き出し形式」→「テキスト（アクセシブル）」を選択すると、メモ帳が起動し、おおざっぱなテキストファイルになります。この段階では、文章の一部欠落や、本来あるべきではない位置での改行が起きています。このため、必ずもとのファイルと見比べ、文字や文章を足してください。

② 写真・図・イラストをテキスト化する

①でテキスト化されなかった写真、図、イラスト等について、内容を説明する文章を追記する。

<例> 写真：10名ほどの学生が楽しそう手話で話す様子

③ 以下のルールに従ってテキストを整え、状況説明が不足している場合は追記する。

- ・トピックスの先頭に■を挿入する。
- ・トピックスが変わるときは空行を挿入する。
- ・写真、図、イラストに関する説明文について、本文と区別しにくい場合は（ ）でくる。

※コンテストホームページにサンプルが掲載されています。ご参照ください。

※このルールは、PEPNet-Japan シンポジウムについてのみ適用するものです。各大学における視覚障害学生支援でテキストデータを作成される場合は、学生のニーズを把握し、事前にルールを確認してください。

④ 全体を通して見直し、完成したらテキスト形式（.txt）で保存する。

⑤ 事務局に送付する。締切：10月11日（金）